

学生が多国籍チームを組み、アジアの村でイノベーション創出

金沢工業大学・国際高等専門学校

「ラーニングエクスプレス」活動報告会を開催

5月29日(火)17時20分～18時20分 扇が丘キャンパス23号館1階 パフォーミングスタジオ

金沢工業大学と国際高等専門学校では、アジアの学生達と多国籍チームを組み、アジアの村でイノベーション創出に取り組むグローバル人材育成プログラム、「ラーニングエクスプレス」の活動報告会を、5月29日(火)17時20分から18時20分まで、扇が丘キャンパス23号館1階パフォーミングスタジオにて行います。

2018年3月4日からおよそ2週間、タイ・チェンマイで実施された「ラーニングエクスプレス」では、金沢工業大学の学生4名と現国際高専5年生4名、提携校であるシンガポール理工学院の学生27名、現地タイのラジャマンガラ工科大学ランナー校の学生27名のあわせて62名の学生がタイ・チェンマイの3つの村にわかれて滞在しました。それぞれの村で住民たちと一緒に生活し、住民たちへのインタビューや観察を通して問題点を見出し、解決策の設計と試作品の製作・提案を行いました。

報告会では、金沢工業大学・国際高専8名の学生たちが合同でプロジェクト活動の発表を行い、また現地での学生同士の交流や生活についても報告が行われます。

ラーニングエクスプレス活動報告会

- 日時 : 5月29日(火) 17時20分から18時20分まで
- 場所 : 扇が丘キャンパス23号館1階

1)当報告会では以下の報告が行われます。

●タイの村で取り組んだ3つのプロジェクトについて

- 1、山岳地帯での農作業の軽減化
- 2、お茶の葉の栽培・販売の改善
- 3、木葉を乾燥させて制作する籠や屋根などの保管方法



【ラーニングエクスプレスとは】

「ラーニングエクスプレス」は技術者教育の世界標準である「CDIO」(Conceive、Design、Implement、Operate)加盟校であるシンガポール理工学院、金沢工業大学、国際高専の3校が協働して行う国際的なソーシャルイノベーションプロジェクトです。ユーザーが何を必要としているのか考え解決策を創出する「デザインシンキング」の手法も取り入れ、地域発展、環境問題、持続可能な社会の観点から、村人の立場になって必要とされるものを考え、生み出した解決策はプロトタイプ(試作品)として具体化し、村人に提案して製品化を行い、導入を目指しています。

金沢工業大学は、この「ラーニングエクスプレス」など「誰一人取り残さない」世界の実現に向けた取り組みが評価され、SDGs達成に向けて優れた取り組みを行う団体を表彰する第1回「ジャパンSDGsアワード、SDGs推進副本部長(内閣官房長官)」賞を受賞しています。

学校法人 金沢工業大学広報課長 志鷹英男
電話 076-246-4784